

外国語理解の能力（聞くこと）

プロトタイプC

単元・パート：

BOOK 1 , LESSON 7

評価の観点（技能）：

外国語理解の能力（聞くこと）

評価規準：

助動詞 can を含む会話を聞いて、話題となっている人物などができることとできないことを聞き取ることができる。

評価方法：

【聞き取りテスト】p.86 , USE Listen , 1 の活動とパラレルなタスクを行う。

ここでは、盲導犬についての会話を聞いて、その内容を理解しているかを評価する。

留意点

USE Listen , 1 の音声スクリプトと同様の長さ・内容の音声スクリプトを作成。

補助犬法が規定する 3 種類の補助犬（盲導犬、聴導犬、介助犬）のうち、授業では聴導犬、評価課題では盲導犬を扱うことで、パラレルなタスクとする。

評価基準：A・B・C の 3 段階

A : 8 割以上 (10 点中 , 8 点以上) が正解

B : 5 割以上 (10 点中 , 5 点以上) が正解

C : 正解が 5 割に満たない (4 点以下)

(2 点 × 5 問 , 部分点あり)

評価課題：

美紀とトムの会話を聞いて、以下の問い合わせに日本語で答えなさい。

- (1) アオイは松田さんのペットですか。
- (2) 松田さんは耳が聞こえますか。
- (3) アオイは、街で大勢の人が自分たちの方に来ると、何をしますか。
- (4) アオイは街の中にある色の意味を理解できますか。
- (5) アオイは松田さんの何の役割をしていますか。

評価課題のスクリプト：

Miki: That is Mr Matsuda.

Tom: Oh, his dog is cute. Is it his pet?

Miki: No, it's not his pet. It's his guide dog.

Tom: Guide dog?

Miki: Yes. The dog helps Mr Matsuda. The dog's name is Aoi.

Tom: What can Aoi do for Mr Matsuda?

Miki: Well, Mr Matsuda can't see.

Tom: Can the dog see for him?

Miki: In a way, yes. For example, Mr Matsuda and Aoi leave home, and, in town, many people come to them. Then Aoi waits. In this way, the dog tells him, "We can't go."

Tom: I see. Aoi is Mr Matsuda's "eye." Aoi is a very good dog.

Miki: Yes, she really is. Aoi knows sounds too. She knows Mr Matsuda's words. But she doesn't know about colors in town. Mr Matsuda can't see colors, but he can listen and say "go" or "wait." Then Aoi goes with him or waits with him.

Tom: That's wonderful. Guide dogs can help people in many ways!

Miki: That's right. But remember. These dogs are not pets. They help people in special ways.

解答例：

- (1) いいえ。ペットではありません。
- (2) いいえ。聞こえません。
- (3) 待つことで、松田さんに「行けない」と知らせる。
- (4) いいえ。理解できません。
- (5) 松田さんの目の役割。

留意点

評価課題は和問和答形式である。解答例(1)の「いいえ。ペットではありません。」などは、ペットでない事実が示してあれば、表現の良し悪しにかかわらず とする。解答例(3)の「待つことで、松田さんに『行けない』と知らせる。」については、「待つこと」と、「『行けない』と知らせること」の両方が答えられれば 、どちらか一方のみの解答では□とする。